

1. 昆虫類の確認種一覧

表 1(1) 昆虫類の確認種一覧

No.	目名	科名	種名*1	調査時季					
				早春	春季	初夏	夏季	秋季	
1	カゲロウ(蜻蛉)	コカゲロウ	コカゲロウ科				○		
2	トンボ(蜻蛉)	アオイトトンボ	ホソミオツネトンボ		○				
3			オオアオイトトンボ			○		○	
4			オツネトンボ		○	○	○	○	
5			イトトンボ	キイトトンボ			○	○	
6				エゾイトトンボ		○			
7				オゼイトトンボ		○	○		
8				アジアイトトンボ		○	○	○	
9				モートンイトトンボ		○	○		
10				クロイトトンボ		○	○		
11		オオイトトンボ					○	○	
12		モノサシトンボ		モノサシトンボ		○	○	○	
13		カワトンボ	ハグロトンボ			○	○		
14			ニホンカワトンボ		○				
15		ヤンマ	オオルリボシヤンマ		○				
16			クロスジギンヤンマ		○				
17			ギンヤンマ				○	○	
18			ミルンヤンマ				○		
19			サラサヤンマ		○				
20			サナエトンボ	ヤマサナエ		○	○		
21			コオニヤンマ			○	○		
22			ウチワヤンマ			○			
23			コサナエ		○	○			
24			オニヤンマ	オニヤンマ			○	○	
25		エゾトンボ	タカネトンボ		○				
26		トンボ	ショウジョウトンボ		○	○	○		
27			コフキトンボ				○		
28			ヨツボシトンボ		○				
29			ハラビロトンボ		○	○			
30			シオカラトンボ		○	○	○		
31			シオヤトンボ		○				
32			オオシオカラトンボ				○	○	
33			コシアキトンボ				○	○	
34	チョウトンボ					○	○		
35	ナツアカネ					○			
36	マユタテアカネ						○		
37	アキアカネ					○	○		
38	ノシメトンボ					○	○		
39	カマキリ(蟷螂)	カマキリ	コカマキリ				○		
40			オオカマキリ				○	○	
41	ハサミムシ(革翅)	クギヌキハサミムシ	コブハサミムシ				○		
42	カワゲラ(セキ翅)	オナシカワゲラ	オナシカワゲラ		○				
-			Nemoura 属		○				
43			Isoperla 属		○	○			
44	バッタ(直翅)	コロギス	ハネナシコロギス		○	○	○		
45		カマドウマ	コノシタウマ			○	○		
46			モリズミウマ						
47			ツユムシ	セスジツユムシ			○	○	
48			ツユムシ				○		
49			アシグロツユムシ				○		
50		キリギリス	コバネヒメギス			○			
51			オナガササキリ				○		
52			コバネササキリ					○	

表1(2) 昆虫類の確認種一覧

No.	目名	科名	種名*1	調査時季							
				早春	春季	初夏	夏季	秋季			
53	バッタ(直翅)	キリギリス	ササキリ				○				
54			ヒメギス		○	○					
55			ヒメクサキリ				○	○			
56			Tettigonia 属			○	○	○			
57		ケラ	ケラ				○	○			
58		マツムシ	カンタン					○			
59		コオロギ	Tanypus 属	タンボオカメコオロギ					○		
60				ハラオカメコオロギ					○		
61				モリオカメコオロギ					○		
-				Loxoblemmus 属					○		
62				エンマコオロギ					○	○	
63				ツツレサセコオロギ						○	
64				ヒバリモドキ	Hippodamia 属	マダラスズ			○		○
65						シバズ				○	○
66						ヤチスズ					○
67						エゾスズ				○	
68		キアシヒバリモドキ					○				
69		バッタ	Cicadella 属	ヒナバッタ			○				
70				トノサマバッタ			○				
71				ナキイナゴ		○	○	○			
72				クルマバッタモドキ				○	○		
73				ツマグロバッタ			○	○			
74				イナゴ	Cicadella 属	コバネイナゴ				○	○
75						ミカドフキバッタ					○
76		ヤマトフキバッタ					○	○			
77		オンブバッタ	オンブバッタ			○	○	○			
78		ヒシバッタ	Cicadella 属	トゲヒシバッタ		○					
79				コバネヒシバッタ		○	○				
80				ハラヒシバッタ		○		○	○		
81		チャタテムシ	Stenopsocus 属	ホソチャタテ		○					
-	Stenopsocus 属								○		
82	カメムシ(半翅)	ヒシウンカ	ハスオビヒシウンカ			○					
83			ヨスジヒシウンカ			○					
84			Trirhacus 属		○						
85		ウンカ	Cicadella 属	ホソミドリウンカ				○			
86				セスジナガウンカ					○		
87		ハネナガウンカ	アカハネナガウンカ				○				
88		ハゴロモ	ベッコウハゴロモ				○				
89		セミ	Cicadella 属	エゾゼミ				○			
90				アブラゼミ				○			
91				ミンミンゼミ				○			
92				ニイニイゼミ			○	○			
93				ヒグラシ			○	○			
94				ツノゼミ	Cicadella 属	トビイロツノゼミ			○		○
95		モジツノゼミ				○			○		
96		アワフキムシ	Cicadella 属	モンキアワフキ					○		
97				ハマバアワフキ			○				
98				コガタアワフキ				○			
96	モンキアワフキ							○			
97	ハマバアワフキ					○					
98	コガタアワフキ						○				
99	マエキアワフキ				○			○			
100	ホシアワフキ							○			
101	クロスジアワフキ							○			

表 1(3) 昆虫類の確認種一覧

No.	目名	科名	種名*1	調査時季					
				早春	春季	初夏	夏季	秋季	
102	カメムシ(半翅)	アワフキムシ	マルアワフキ					○	
103			Peuceptyelus 属				○	○	
104		コガシラアワフキムシ	コガシラアワフキ			○	○		
105		ヨコバイ	トバヨコバイ					○	
106	ツマグロオオヨコバイ		○	○			○		
107	オオヨコバイ						○		
108	ウスブチミヤクヨコバイ				○				
109	サジヨコバイ					○			
110	ヒトツメヒメヨコバイ						○		
111	シダヨコバイ			○					
112	マエジロオオヨコバイ			○	○	○			
113	ミドリヒロヨコバイ			○					
114	フタオビハトムネヨコバイ				○				
115	ヨツテンウスバヨコバイ					○			
116	ヒメフタテンウスバヨコバイ				○	○			
117	Naratettix 属						○		
118	リンゴマダラヨコバイ				○				
119	Pagaronia 属			○					
120	ズキンヨコバイ				○				
121	マダラヨコバイ						○		
-				ヨコバイ科	○		○	○	
122			サシガメ	ハネナシサシガメ			○		
123				アカヘリサシガメ		○			
124		グンバイムシ	アワダチソウグンバイ				○		
125		ハナカメムシ	ヤサハナカメムシ					○	
126		カスミカメムシ	ウスモンカスミカメ			○		○	
127			ナカグロカスミカメ		○		○	○	
128			マダラカスミカメ			○			
129			オオモンキカスミカメ					○	
130			メンガタカスミカメ			○		○	
131			ズアカシダカスミカメ			○			
132			ベニミドリカスミカメ					○	
133			オオチャイロカスミカメ			○			
134			クロマルカスミカメ		○				
135			チャイロカスミカメ				○		
136			フタトゲムギカスミカメ		○			○	
137			アカスジカスミカメ					○	
138		マキバサシガメ	コバネマキバサシガメ		○			○	
139			ハネナガマキバサシガメ		○				
140		ヒラタカメムシ	クロヒラタカメムシ		○				
141			イボヒラタカメムシ		○				
142		ホシカメムシ	フタモンホシカメムシ					○	
143			クロホシカメムシ			○			
144		ホソヘリカメムシ	ヒメクモヘリカメムシ				○	○	
145			ホソヘリカメムシ		○			○	
146		ヘリカメムシ	ホオズキカメムシ		○			○	
147			ホソハリカメムシ		○		○	○	
148			ハリカメムシ					○	
149			ハラビロヘリカメムシ			○			
150			ホシハラビロヘリカメムシ		○	○	○	○	
151			オオツマキヘリカメムシ		○	○	○		
152			ヒメヘリカメムシ	アカヒメヘリカメムシ		○			○
153			コブチヒメヘリカメムシ			○	○		
154			ブチヒメヘリカメムシ		○	○			

表 1(4) 昆虫類の確認種一覧

No.	目名	科名	種名*1	調査時季					
				早春	春季	初夏	夏季	秋季	
155	カメムシ(半翅)	ナガカメムシ	コバネナガカメムシ		○				
156			オオメナガカメムシ		○		○	○	
157			キベリヒョウタンナガカメムシ					○	
158			ホソコバネナガカメムシ					○	
159			ヒメナガカメムシ			○			
160			ヒゲナガカメムシ			○		○	
161			クロスジヒゲナガカメムシ			○	○		
162			コバネヒョウタンナガカメムシ			○		○	
163			ジュウジナガカメムシ					○	
164			メダカナガカメムシ	メダカナガカメムシ					○
165			ツノカメムシ	セアカツノカメムシ		○			
166				ベニモンツノカメムシ		○			
167				エサキモンキツノカメムシ					○
168				ミツボシツチカメムシ				○	
169	ツチカメムシ				○	○	○		
170	カメムシ	シロヘリカメムシ		○			○		
171		トゲカメムシ				○	○		
172		アオクチブトカメムシ				○			
173		ブチヒゲカメムシ			○	○	○		
174		ナガメ			○	○			
175		オオトゲシラホシカメムシ			○	○	○		
176		シラホシカメムシ					○		
177		エビイロカメムシ			○		○		
178		クサギカメムシ				○	○		
179		ヨツボシカメムシ					○		
180		トホシカメムシ				○			
181		ツマジロカメムシ			○				
182		エゾアオカメムシ					○		
183		オオクチブトカメムシ				○			
184		チャバネアオカメムシ			○				
185	マルカメムシ	マルカメムシ		○		○			
186	キンカメムシ	チャイロカメムシ		○		○			
187	アメンボ	オオアメンボ		○	○	○			
188		アメンボ				○	○		
189		ヒメアメンボ		○	○	○	○		
190		ハネナシアメンボ				○			
191	カメムシ(半翅)	アメンボ	ヤスマツアメンボ		○	○	○		
192			シマアメンボ				○		
193			カタビロアメンボ	ケシカタビロアメンボ				○	
194		ミズギワカメムシ	モンシロミズギワカメムシ				○		
195			ミズギワカメムシ				○		
196		ミズムシ(昆)	ハラグロコミズムシ				○		
-			Sigara 属					○	
197		メミズムシ	メミズムシ		○				
198		コオイムシ	コオイムシ		○				
199			オオコオイムシ		○	○	○		
200	タイコウチ		ヒメミズカマキリ		○				
201	マツモムシ		マツモムシ		○	○	○		
202	ヘビトンボ	センブリ	ネグロセンブリ		○				
203	アミメカゲロウ (脈翅)	ヒロバカゲロウ	ヒロバカゲロウ		○	○			
204			スカシヒロバカゲロウ		○				
205			キマダラヒロバカゲロウ				○		
206		カマキリモドキ	ヒメカマキリモドキ				○		
207		クサカゲロウ	ヤマトクサカゲロウ				○		

表 1(5) 昆虫類の確認種一覧

No.	目名	科名	種名*1	調査時季					
				早春	春季	初夏	夏季	秋季	
208	アミメカゲロウ	ヒメカゲロウ	チャバネヒメカゲロウ					○	
209	シリアゲムシ	シリアゲムシ	ヤマトシリアゲ		○	○	○	○	
210	(長翅)		プライアシリアゲ		○				
211	トビケラ(毛翅)	ムネカクトビケラ	Ecnomus 属			○	○		
212		シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ		○				
-			Cheumatopsyche 属			○	○		
213			ウルマーシマトビケラ		○				
-			Hydropsyche 属		○	○	○		
214			Plectrocnemia 属		○				
215			ヒゲナガカワトビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	○				
216			ヤマトビケラ	イノプスヤマトビケラ				○	
217			ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ	○				
-				Goera 属		○		○	
218			カクツツトビケラ	ヒロオカクツツトビケラ	○				
219			ヒゲナガトビケラ	ウトナイヒゲナガトビケラ				○	
220				ゴマダラヒゲナガトビケラ				○	
221			トビケラ	ツماغロトビケラ		○			
222	チョウ(鱗翅)	マガリガ	ホソオビヒゲナガ		○				
223		ツツミノガ	Coleophora 属		○	○	○		
224		カザリバガ	Cosmopterix 属		○		○		
225		キバガ	ミツボシキバガ					○	
226			カバイロキバガ				○		
227			フジフサキバガ				○		
228			ウスグロキバガ				○		
-				キバガ科		○	○	○	
229		ヒゲナガキバガ	ゴマフシロキバガ			○			
230		マルハキバガ	ホソオビキマルハキバガ				○		
231		ニセマイコガ	シロテクロマイコガ				○		
232		ハマキガ	セモンカギバヒメハマキ		○				
233			イグサヒメハマキ		○				
234			アカスジキイロハマキ		○		○		
235			クロサンカクモンヒメハマキ		○				
236			トビモンシロヒメハマキ		○				
237			チビホソハマキ					○	
238			ダイズサヤムシガ						○
239			コホソスジハマキ		○				
240			ウスクリモンヒメハマキ				○		
241			トビハマキ				○		
242		イラガ	マダライラガ				○		
243			クロフテングイラガ			○			
244	クロシタアオイラガ					○			
245	マダラガ	キスジホソマダラ		○					
246		シロシタホタルガ		○	○				
247	セセリチョウ	アオバセセリ本土亜種		○		○			
248		ダイミョウセセリ			○	○			
249		ミヤマセセリ		○					
250		ホソバセセリ				○	○		
251			ギンイチモンジセセリ		○				
252			ヒメキマダラセセリ			○			
253			イチモンジセセリ				○		
254			ミヤマチャバネセセリ		○				
255			オオチャバネセセリ			○	○		
256			キマダラセセリ			○			
257		コチャバネセセリ		○		○			

表 1(6) 昆虫類の確認種一覧

No.	目名	科名	種名*1	調査時季					
				早春	春季	初夏	夏季	秋季	
258	チョウ(鱗翅)	セセリチョウ	スジグロチャバネセセリ 北海道・本州・九州亜種			○			
259		シジミチョウ	ルリシジミ	○		○	○		
260			ツバメシジミ		○	○	○	○	
261			ウラナミシジミ					○	
262			ベニシジミ		○	○	○	○	
263			トラフシジミ		○	○			
264			ゴイシシジミ		○	○	○	○	
265			ヤマトシジミ本土亜種			○	○	○	
266			タテハチョウ	ウラギンスジヒョウモン			○	○	
267				オオウラギンスジヒョウモン			○		○
268				メスグロヒョウモン			○		○
269			ウラギンヒョウモン		○	○		○	
270			クジャクチョウ	○					
271			ルリタテハ本土亜種	○	○				
272			クロヒカゲ本土亜種		○	○	○	○	
273			ヒカゲチョウ			○			
274			イチモンジチョウ		○	○			
275			ジャノメチョウ			○	○		
276			ヒメジャノメ				○	○	
277			サトキマダラヒカゲ		○				
278			ヤマキマダラヒカゲ本土亜種		○		○		
279			クモガタヒョウモン		○			○	
280			コムシジ本州以南亜種		○	○	○	○	
281			オオヒカゲ			○	○		
282			ヒオドシチョウ	○		○			
283			キタテハ		○	○		○	
284			オオムラサキ		○			○	
285			アカタテハ					○	
286			ヒメウラナミジャノメ		○	○	○		
287		アゲハチョウ	カラスアゲハ本土亜種		○				
288			キアゲハ	○	○	○	○		
289			オナガアゲハ				○		
290			クロアゲハ本土亜種				○		
291		シロチョウ	モンキチョウ		○	○	○	○	
292			キタキチョウ	○	○	○	○	○	
293			スジボソヤマキチョウ	○					
294			スジグロシロチョウ		○	○	○		
295			モンシロチョウ			○	○	○	
296		トリバガ	ヨモギトリバ		○				
297		ツトガ	ウスムラサキノメイガ				○		
298			ツトガ			○	○		
299			シロテンウスグロノメイガ			○			
300			ハナダカノメイガ		○				
301			コブノメイガ					○	
302			マダラミズメイガ			○			
303			クロスジマダラミズメイガ		○				
304			アヤナミノメイガ			○			
305			クロヘリキノメイガ		○				
306			モンキクロノメイガ			○			
307			チビツトガ				○		
308			イノウエノメイガ				○		
309			ホシオビホソノメイガ		○				
310			トガリシロアシクロノメイガ		○				

表 1(7) 昆虫類の確認種一覧

No.	目名	科名	種名*1	調査時季				
				早春	春季	初夏	夏季	秋季
311	チョウ(鱗翅)	ツトガ	シロオビノメイガ					○
312		メイガ	ナシモンクロマダラメイガ			○		
313			ギンマダラメイガ			○		
314			ツماغロシマメイガ			○		
315			ウスオビトガリメイガ				○	
316			アカフツヅリガ			○		
317			ナカトビフトメイガ			○		
318			ネアオフトメイガ			○		
319			トビスジマダラメイガ		○			
320			マエモンシマメイガ			○		
321			マドガ	ハスオビマドガ		○		
322		マドガ			○			
323		カギバガ	ホシバッコウカギバ		○			
324			オビカギバ		○			
325		アゲハモドキガ	アゲハモドキ		○			
326		シャクガ	ヒトスジマダラエダシャク		○			
327			ミスジコナフエダシャク		○			
328			ヒラヤマシロエダシャク				○	
329			ヘリジロヨツメアオシャク				○	
330			ウメエダシャク			○		
331	ウスジロエダシャク			○	○	○		
332	キマダラオオナミシャク				○		○	
333	ナミガタエダシャク			○				
334	フトオビエダシャク					○		
335	ヨスジキヒメシャク				○			
336	ウスキヒメシャク			○		○		
337	オオウスモンキヒメシャク					○		
338	ホソスジキヒメシャク				○			
339	ミジンキヒメシャク				○			
340	ナミスジコアオシャク				○			
341	マルモンヒメアオシャク			○				
342	フタホシシロエダシャク			○				
343	バラシロエダシャク			○				
344	ナカジロナミシャク			○				
345	マエキトビエダシャク			○	○			
346	ウスキツバメエダシャク						○	
347	ツマキリウスキエダシャク			○				
348	タテスジナミシャク			○				
349	クロフヒメエダシャク					○		
350	リンゴツノエダシャク					○		
351	ナカキエダシャク					○		
352	コナフキエダシャク					○		
353	オレクギエダシャク			○				
354	フタスジオエダシャク			○				
355	ヤスジマルバヒメシャク			○				
356	マエキヒメシャク					○		
357	キナミシロヒメシャク			○				
358	コベニスジヒメシャク				○			
359	フタクロテンナミシャク			○				
360	ミスジツマキリエダシャク		○	○				
361	ツバメガ	ギンツバメ			○			
362		クロホシフタオ		○				
363	イカリモンガ	イカリモンガ				○		
364	カレハガ	ツガカレハ			○			

表 1(8) 昆虫類の確認種一覧

No.	目名	科名	種名*1	調査時季					
				早春	春季	初夏	夏季	秋季	
365	チョウ(鱗翅)	カレハガ	ヨシカレハ		○	○			
366		スズメガ	モモスズメ		○	○			
367			ヒメクチバスズメ			○	○		
368			ホシヒメホウジャク					○	
369			ウチスズメ		○				
370		シヤチホコガ	キシヤチホコ		○				
371			セダカシヤチホコ			○			
372			クワゴモドキシヤチホコ		○				
373			ウスキシヤチホコ		○				
374			ナカスジシヤチホコ				○		
375			ナカキシヤチホコ			○			
376			オオエグリシヤチホコ		○	○			
377			アオシヤチホコ			○	○		
378			モンクロギンシヤチホコ				○		
379			ヒトリガ	カノコガ				○	
380				スジベニコケガ		○			
381				シロヒトリ				○	
382				キシタホソバ		○	○	○	
383				クロフシロヒトリ		○			
384		ハガタキコケガ				○			
385		ベニヘリコケガ				○			
386		クロスジホソバ				○			
387		アカハラゴマダラヒトリ			○				
388		ドクガ		ドクガ				○	
389				ブドウドクガ				○	
390				マイマイガ		○	○	○	
391				ヒメシロモンドクガ			○		
392		ヤガ		ウリキンウワバ					○
393			シロホソコヤガ			○			
394			クロハナコヤガ			○			
395			ナナメヒメヨトウ		○				
396			エゾギクキンウワバ					○	
397			モンシロムラサキクチバ		○				
398			フサヤガ			○		○	
399			フタスジエグリアツバ			○			
400			ツメクサガ			○			
401			ウスキミスジアツバ		○		○		
402			トビスジアツバ		○				
403			クロクモヤガ					○	
404			ヒロオビウスグロアツバ		○				
405			ミツボシアツバ		○				
406			コウスグロアツバ				○		
407			チョウセンコウスグロアツバ			○			
408			シロホシクロアツバ			○			
409			シロスジトモエ		○				
410			フタホシコヤガ		○				
411			ニセウンモンクチバ		○				
412			ウンモンクチバ		○	○	○		
413	フサキバアツバ				○	○			
414	フタオビキヨトウ			○					
415	フタキボシアツバ				○				
416	シロモンツマキリアツバ		○						
417	ミスジアツバ		○						
418	シロマダラコヤガ		○						

表 1(9) 昆虫類の確認種一覧

No.	目名	科名	種名*1	調査時季					
				早春	春季	初夏	夏季	秋季	
419	チョウ(鱗翅)	ヤガ	シロフコヤガ		○				
420			ツマテンコブヒゲアツバ		○				
421			ハスオビヒメアツバ				○		
422			イネヨトウ		○				
423			テンオビヨトウ				○		
424			スジキリヨトウ				○		
425			キイロアツバ		○				
426			ヒメコブヒゲアツバ		○				
427			コブガ	クロスジコブガ				○	
428				カバイロコブガ				○	
429				クロスジキノカワガ				○	
430				アミメリンガ			○		
431			ハエ(双翅)	ヒメガガンボ	Cladura 属		○		
432					Dicranomyia 属				○
433	クチナガガガンボ						○		
-	Elephantomyia 属						○		
434	ウスナミガタガガンボ						○		
435	Molophilus 属				○				
-	ヒメガガンボ科						○		
436	ガガンボ	ミカドガガンボ					○		
437		マダラガガンボ				○			
-		Tipula 属				○	○	○	
438		オビコシボソガガンボ			○	○			
439		Culicoides 属			○				
440		Chironomus 属			○				
-		ユスリカ科			○	○	○		
441		カ		Culex 属			○		
442	タマバエ	タマバエ科			○				
443	キノコバエ	キノコバエ科				○			
444	クロバネキノコバエ	クロバネキノコバエ科			○	○	○		
445	シギアブ	Chrysopilus 属			○				
446		Beris 属			○				
447		コウカアブ				○	○		
448		ルリミズアブ					○		
449		ミズアブ				○	○		
450		クロキンメアブ			○				
451		キンメアブ			○				
452		ヤマグチキンメアブ			○				
453		アカウシアブ				○	○		
454		イヨシロオビアブ					○		
455		ヤマトアブ				○	○		
456		シロフアブ				○			
457	ムシヒキアブ	Choerades 属					○		
458		アオメアブ				○			
459		チャイロムシヒキ				○			
460		ウスグロムシヒキ				○			
461		カタナクチシアブ				○			
462		アシナガムシヒキ			○				
463		Neotamus 属		○					
464		シオヤアブ			○	○			
465		ツリアブ	ビロウドツリアブ	○					
466			ニトベハラボソツリアブ				○		
467	アシナガバエ	Dolichopus 属		○		○			
-		アシナガバエ科			○	○			

表 1(10) 昆虫類の確認種一覧

No.	目名	科名	種名*1	調査時季					
				早春	春季	初夏	夏季	秋季	
468	ハエ(双翅)	オドリバエ	Hybos 属		○				
469			Leptopeza 属		○				
470		アタマアブ	アタマアブ科				○		
471		ハナアブ	クロヒラタアブ					○	
472			Cheilosia 属					○	
473			フタスジヒラタアブ					○	
474			ホソヒラタアブ			○		○	
475			ホシメハナアブ					○	
476			シマハナアブ					○	
477			ナミハナアブ		○			○	
478			マドヒラタアブ			○			
479			ナミホシヒラタアブ					○	
480			アシブトハナアブ					○	
481			カクモンハラブトハナアブ			○			
482			Melangyna 属					○	
483			ホシツヤヒラタアブ		○	○		○	
484			キンアリノスアブ		○				
485			アリノスアブ		○				
486			キアシマメヒラタアブ			○	○		
-				Paragus 属		○			○
487			オオハナアブ				○		○
488			ミナミヒメヒラタアブ			○			○
489			ホソヒメヒラタアブ			○	○	○	○
490		オオフタホシヒラタアブ						○	
491		シロスジベッコウハナアブ						○	
492		ノミバエ	ノミバエ科		○				
493		キモグリバエ	キモグリバエ科					○	
494		ショウジョウバエ	Drosophila 属		○		○	○	
495		ベッコウバエ	ベッコウバエ					○	
496		ミギワバエ	ミナミカマバエ					○	
497			シキシマカマバエ		○			○	
498			Parydra 属		○			○	
499		トゲハネバエ	Suillia matsutakevora		○				
500			Suillia rubida					○	
501		シマバエ	ヒラヤマシマバエ			○			
-			Homoneura 属		○		○	○	
502			Minettia 属		○		○	○	
503			Steganopsis 属					○	
504			Trigonometopus 属		○			○	
505		ヤチバエ	ヤマトヤチバエ			○			
506			ヒゲナガヤチバエ			○		○	
507			ヒガシヒゲナガヤチバエ		○			○	
508		ツヤホソバエ	Sepsis 属			○			
509		フンコバエ	フンコバエ科					○	
510		ミバエ	タテジマハマダラミバエ			○	○		
511			ヒラヤマアミメケブカミバエ			○			
512		ハナバエ	タネバエ		○				
-			ハナバエ科			○			
513		クロバエ	コガネキンバエ					○	
-			Lucilia 属		○			○	
514	ツماغロキンバエ			○			○		
515	イエバエ	ヤマトハナレメイバエ		○			○		
516		アシマダラハナレメイバエ		○					
517		カガハナゲバエ					○		

表 1(11) 昆虫類の確認種一覧

No.	目名	科名	種名*1	調査時季				
				早春	春季	初夏	夏季	秋季
518	ハエ(双翅)	イエバエ	セマダライエバエ					○
519			Hydrotaea 属					○
520			Linnophora 属		○			
521			トウヨウカトリバエ		○			○
522			Lispocephala 属		○			
523			ヘリグロハナレメイエバエ					○
524			Phaonia 属		○			○
-			イエバエ科				○	
525		ニクバエ	カワユニクバエ		○			
526			ナミニクバエ					○
527			トラツメニクバエ					○
528			フィールドニクバエ		○			
-			Sarcophaga 属				○	
-			ニクバエ科					○
529		フンバエ	ヒメフンバエ			○		
530		ヤドリバエ	Tachina 属					○
-	ヤドリバエ科			○	○		○	
531	コウチュウ(鞘翅)	オサムシ	ヒメセボシヒラタゴミムシ				○	
532			ヒメゴミムシ			○	○	
533			アオアトキリゴミムシ			○		
534			クロオサムシ東北地方東部亜種		○	○		
535			コクロナガオサムシ 北上山地亜種		○	○		○
536			マイマイカブリ東北地方 北部亜種		○			
537			アオオサムシ東北地方亜種		○	○	○	
538			アキタクロナガオサムシ		○		○	
539			アトボシアオゴミムシ		○	○	○	
540			アオゴミムシ			○	○	
541			キボシアオゴミムシ		○	○	○	
542			コガシラアオゴミムシ				○	
543			コハラアカモリヒラタゴミムシ					○
544			ベーツホソアトキリゴミムシ		○	○		
545			キイロマルコムズギワゴミムシ					○
546			チビアオゴミムシ			○		○
547			ヒメケゴモクムシ					○
548			ニセケゴモクムシ					○
549			アカアシマルガタゴモクムシ		○			
550			ケゴモクムシ					○
551			トックリゴミムシ				○	
552			フタホシアトキリゴミムシ		○			
553			アトオビコムズギワゴミムシ			○		
554			ヨツボシゴミムシ			○		
555			ウスオビコムズギワゴミムシ					○
556			アオヘリアトキリゴミムシ			○	○	○
557			クロズホナシゴミムシ					○
558			ヒロムネナガゴミムシ				○	
559			トウホククロナガゴミムシ			○	○	
560			コガシラナガゴミムシ		○	○	○	○
561			キンナガゴミムシ			○	○	○
562			ニッコウヒメナガゴミムシ		○		○	
563	ヒメホソナガゴミムシ				○			
564	アシミズナガゴミムシ			○	○	○		
565	ヨリトモナガゴミムシ		○	○	○	○		

表 1(12) 昆虫類の確認種一覧

No.	目名	科名	種名*1	調査時季				
				早春	春季	初夏	夏季	秋季
-	コウチュウ(鞘翅)	オサムシ	Pterostichus 属					○
566			キアシツヤヒラタゴミムシ					○
567			クロツヤヒラタゴミムシ		○	○		○
568			ヒメツヤヒラタゴミムシ			○		
569			コクロツヤヒラタゴミムシ		○			
570			オオクロツヤヒラタゴミムシ		○	○		○
571			ヒラタコミズギワゴミムシ				○	
572			クビアカツヤゴモクムシ					○
573		ハンミョウ	ニワハンミョウ		○			
574		ゲンゴロウ	ホソセスジゲンゴロウ				○	
575			チビゲンゴロウ				○	
576			トウホクナガケシゲンゴロウ				○	
577			モンキマメゲンゴロウ				○	
578			ヒメゲンゴロウ		○	○		○
579			コガシラミズムシ	コガシラミズムシ			○	○
580		コツブゲンゴロウ	コツブゲンゴロウ			○		
581		ガムシ	タマガムシ		○			
582			トゲバゴマフガムシ			○	○	
583			ゴマフガムシ			○	○	○
584			チビヒラタガムシ				○	
585			キベリヒラタガムシ				○	
586			キイロヒラタガムシ		○	○		
587			コガムシ		○			
588	シデムシ	オオヒラタシデムシ			○	○	○	
589	ハネカクシ	Aleochara 属		○				
590		Atheta 属			○	○		
591		Carpelimus 属				○		
592		Gabrius 属				○		
593		アカアシオオメツヤムネハネカクシ					○	
594		サビハネカクシ		○				
595		Philonthus 属			○			
596		カラカネトガリオオズハネカクシ			○	○		
597		ヤマトマルクビハネカクシ					○	
598		マルハナノミ	ウスチャチビマルハナノミ		○	○		
599	トビイロマルハナノミ			○				
600		ヒメマルハナノミ			○			
601	クワガタムシ	スジクワガタ					○	
602		ミヤマクワガタ			○			
603	コガネムシ	ドウガネブイブイ			○	○		
604		サクラコガネ				○		
605		ヒメコガネ			○			
606		セマダラコガネ			○			
607		コアオハナムグリ		○	○		○	
608		ナガチャコガネ			○			
609		オオクロコガネ				○		
610		アカビロウドコガネ			○	○		
611		ビロウドコガネ			○			
612		カミヤビロウドコガネ		○				
613		ヒメビロウドコガネ		○				
614		オオスジコガネ			○			
615		コガネムシ			○			
616		スジコガネ			○			

表 1(13) 昆虫類の確認種一覧

No.	目名	科名	種名*1	調査時季					
				早春	春季	初夏	夏季	秋季	
617	コウチュウ(鞘翅)	コガネムシ	マメダルマコガネ				○		
618			ハイイロビロウドコガネ		○				
619			マメコガネ			○	○		
620			シロテンハナムグリ			○			
621			カナブン				○		
622			アオカナブン			○			
623			ヒゲナガビロウドコガネ			○			
624			カブトムシ				○		
625		ヒメドロムシ	キスジミゾドロムシ			○	○		
626		ヒラタドロムシ	チビマルヒゲナガハナノミ			○			
627		ナガハナノミ	ヒゲナガハナノミ		○				
628		タマムシ	クロナガタマムシ			○			
629			ヤナギチビタマムシ			○			
630		ナガハナノミダマシ	ニホンナガハナノミダマシ			○			
631		コメツキムシ	オオシモフリコメツキ		○				
632			チャイロムナボソコメツキ			○			
633			サビキコリ			○	○	○	○
634			ムナビロサビキコリ			○			
635			ホソクロコメツキ			○			
636			ウバタマコメツキ			○			
637			キバネホソコメツキ			○			
638			ヨツモンミズギワコメツキ				○		
639			クチボソコメツキ				○		
640			ヒメクシコメツキ			○			
641	クロクシコメツキ				○				
642	オオナガコメツキ						○		
643	クチブトコメツキ					○			
644	アカアシオクシコメツキ					○			
645	オオクシヒゲコメツキ					○			
646	ジョウカイボン		Asiopodabrus 属		○				
647		アベクビボソジョウカイ		○					
648		ムネアカクロジョウカイ				○			
649		ジョウカイボン		○					
650		ヒガシマルムネジョウカイ		○					
651		クリイロジョウカイ					○		
652	ホタル	オバボタル				○			
653		ゲンジボタル				○			
654	ベニボタル	ヘイケボタル				○			
655		カクムネクロベニボタル				○			
656	カッコウムシ	クロハナボタル				○			
657		キオビナガカッコウムシ				○			
658	ジョウカイモドキ	ツマキアオジョウカイモドキ		○					
659	テントウムシ	シロジュウシホシテントウ		○					
660		ナナホシテントウ		○					
661		ナミテントウ		○	○		○		
662		ムナグロチャイロテントウ		○	○				
663		ウスキホシテントウ			○				
664		ヒメカメノコテントウ		○	○	○	○		
665		ハレヤヒメテントウ		○					
666		ツマアカヒメテントウ					○		
667		カワムラヒメテントウ		○	○				
668		コクロヒメテントウ				○	○		
669		テントウムシダマシ	ヨツボシテントウダマシ			○	○		
670			ルリテントウダマシ				○		

表 1(14) 昆虫類の確認種一覧

No.	目名	科名	種名*1	調査時季				
				早春	春季	初夏	夏季	秋季
671	コウチュウ(鞘翅)	オオクスイムシ	ムナビロオオクスイ		○			
672		ケシクスイ	カクアシヒラタケシクスイ				○	
673			マメヒラタケシクスイ		○			
674			ヨツボシケシクスイ		○			
675		ヒメハナムシ	トビイロヒメハナムシ			○		
676		ホソヒラタムシ	クロオビセマルヒラタムシ					○
677		アリモドキ	コクビボソムシ			○		
678			アカホソアリモドキ			○		
679			ヨツボシホソアリモドキ				○	
680		ツチハンミョウ	マメハンミョウ				○	
681		ハナノミ	クロヒメハナノミ		○			
682		カミキリモドキ	ハラグロカミキリモドキ			○	○	
683			キイロカミキリモドキ			○		
684			モモブトカミキリモドキ			○		
685		アカハネムシ	オニアカハネムシ		○			
686		ゴミムシダマシ	ナミウスイロクチキムシ			○		
687			コマルキマワリ			○		
688			ナミアオハムシダマシ		○			
689			ムネビロスナゴミムシダマシ			○		
690			スジコガシラゴミムシダマシ		○	○	○	○
691			オオメキバネハムシダマシ			○		
692			フジナガハムシダマシ		○			
693			ニホンキマワリ本土亜種				○	
694	カミキリムシ		キスジトラカミキリ			○		
695			ホソカミキリ			○		
696		ヨツキボシカミキリ			○			
697		シラホシカミキリ			○			
698		ヨツスジハナカミキリ			○			
699		ヘリグロリンゴカミキリ			○			
700		ホソキリンゴカミキリ		○				
701		アトモンサビカミキリ					○	
702		アオカミキリ				○		
703		アカハナカミキリ				○		
704	ハムシ	タマツツハムシ			○			
705		キクビアオハムシ				○		
706		ヒメアザミカミナリハムシ		○				
707		スジカミナリハムシ本州以南 亜種					○	
708		アカバナカミナリハムシ			○			
709		ツブノミハムシ		○	○		○	
710		ムナグロツヤハムシ		○	○	○		
711		ウリハムシモドキ			○	○		
712		ウリハムシ				○	○	
713		アオバネサルハムシ			○	○		
714		セモンジンガサハムシ		○	○			
715		ヒメジンガサハムシ				○		
716		ヒサゴトビハムシ		○				
717		ムシクソハムシ		○				
718		パラルリツツハムシ		○	○			
719		カシワツツハムシ			○			
720		フトネクイハムシ		○				
721		キンイロネクイハムシ					○	
722		クワハムシ		○				
723		アザミオオハムシ				○	○	

表 1(15) 昆虫類の確認種一覧

No.	目名	科名	種名*1	調査時季					
				早春	春季	初夏	夏季	秋季	
724	コウチュウ(鞘翅)	ハムシ	イチゴハムシ		○	○			
725			コガタリハムシ	○	○				
726			フジハムシ		○				
727			キバネマルノミハムシ		○				
728			ケブカクロナガハムシ		○				
729			ヤマイモハムシ					○	
730			ヨモギアシナガトビハムシ				○		
731			クワノミハムシ					○	
732			キアシノミハムシ			○			
733			イチモンジハムシ					○	
734			ドウガネツヤハムシ			○		○	
735			ツヤキバネサルハムシ			○	○	○	
736			ヨツボシハムシ			○		○	○
737			チャバネツヤハムシ			○			
738			ヤナギルリハムシ				○		
739			エゾオオミズクサハムシ			○			
740			キヌツヤミズクサハムシ						○
741			フタホシオオノミハムシ			○			
742			ルリナガスネトビハムシ				○		
743			クロルリトゲハムシ			○			
744			ムナキルリハムシ			○			
745			イチモンジカメノコハムシ				○	○	
746			ルイスジンガサハムシ			○			
747			キカサハラハムシ				○		
748			ヒゲナガゾウムシ	スネアカヒゲナガゾウムシ		○			
749			ホソクチゾウムシ	ヒゲナガホソクチゾウムシ					○
750				マメホソクチゾウムシ			○		
751				ケブカホソクチゾウムシ					○
752			オトシブミ	チャイロチョッキリ			○		
753				ヒメクロオトシブミ		○			
754				オトシブミ		○	○		
755				ウスアカオトシブミ					○
756				エゴツルクビオトシブミ		○	○	○	
757				コナライクビチョッキリ		○			
758				ナラルリオトシブミ		○	○		
759				カシルリオトシブミ		○	○	○	
760				ヒゲナガオトシブミ		○			
761				ゾウムシ	トゲアシクチブトゾウムシ			○	
762			シラホシヒメゾウムシ				○		
763			エゾヒメゾウムシ			○	○		
764			ヒレアミメキクイゾウムシ				○		
765			クリイロクチブトゾウムシ					○	
766			コフキゾウムシ			○			
767			ツメクサタコゾウムシ				○		
768			ヤサイゾウムシ						○
769			ハスジカツオゾウムシ			○			
770			アイノカツオゾウムシ					○	
771	ホホジロアシナガゾウムシ		○						
772	チビヒョウタンゾウムシ					○			
773	カシワクチブトゾウムシ		○		○				
774	ムネスジノミゾウムシ		○		○				
775	ウスモンノミゾウムシ		○						
776	オジロアシナガゾウムシ					○			
777	クロクチブトサルゾウムシ					○			

表 1(16) 昆虫類の確認種一覧

No.	目名	科名	種名*1	調査時季				
				早春	春季	初夏	夏季	秋季
778	コウチュウ(鞘翅)	オサゾウムシ	ササコクゾウムシ		○			
779		チビゾウムシ	ホソチビゾウムシ		○			
780	ハチ(膜翅)	ヒラタハバチ	シマヒラタハバチ		○			
781		ミフシハバチ	ルリチュウレンジ		○			
-			Arge 属			○	○	
782	ハバチ		ニホンカブラハバチ		○	○		
783			カタアカスギナハバチ		○			
784			クロハバチ		○			
785	コマユバチ	コマユバチ科		○	○	○		
786	ヒメバチ	ヒメバチ科		○	○		○	
787	ハエヤドリクロバチ	ハエヤドリクロバチ科		○				
788	アシプトコバチ	フィスケアシプトコバチ		○				
789	コガネコバチ	コガネコバチ科		○				
790	アリ	ヤマトアシナガアリ		○	○	○		
791		オオハリアリ				○		
792		クロオオアリ			○	○	○	
793		クサオオアリ		○				
794		ミカドオオアリ				○		
795		ムネアカオオアリ		○	○	○		
796		テラニシシリアゲアリ		○	○	○		
797		トゲズネハリアリ			○			
798		シベリアカタアリ			○	○		
799		ハヤシクロヤマアリ		○				
800		クロヤマアリ		○	○	○		
801		クロクサアリ		○				
802		トビイロケアリ		○	○	○	○	
803		カドフシアリ			○	○		
804		エゾクシケアリ			○			
805		ハラクシケアリ		○	○	○	○	
806		アメイロアリ		○	○	○	○	
807		アズマオオズアリ		○	○	○	○	
808		アミメアリ			○	○	○	
809		トビイロシワアリ		○		○		
810		スズメバチ	アトボシキタドロバチ			○		
811			ムモントックリバチ				○	
812			エントツドロバチ			○	○	
813	スズバチ					○	○	
814	ムモンホソアシナガバチ					○		
815	キボシアシナガバチ			○	○		○	
816	キアシナガバチ本土亜種			○				
817	コアシナガバチ			○	○	○		
818	コガタスズメバチ			○			○	
819	モンズズメバチ			○				
820	ヒメスズメバチ				○			
821	オオスズメバチ				○	○	○	
822	キイロスズメバチ				○		○	
823	クモバチ	ミカドクロクモバチ					○	
824		キタクロクモバチ		○				
825		オオモンクロクモバチ			○			
826		コガタヒゲクモバチ		○				
827	アリバチ	ヤマトアリバチモドキ			○			
828	ツチバチ	キオビツチバチ				○		
829	ギングチバチ	ナミコオロギバチ本土琉球亜種			○			
830	アナバチ	サトジガバチ			○			

表 1(17) 昆虫類の確認種一覧

No.	目名	科名	種名*1	調査時季					
				早春	春季	初夏	夏季	秋季	
831	ハチ(膜翅)	ヒメハナバチ	マメヒメハナバチ		○				
832			コガタウツギヒメハナバチ		○				
833		ミツバチ	セイヨウミツバチ		○		○	○	
834			トラマルハナバチ本土亜種		○	○	○	○	
835			オオマルハナバチ本土亜種		○				
836			クロマルハナバチ					○	
837			ヤマトツヤハナバチ		○				
838			ニッポンヒゲナガハナバチ		○				
839			キムネクマバチ					○	
840			ムカシハナバチ	アシブトムカシハナバチ					○
841			コハナバチ	アカガネコハナバチ		○		○	○
842		Lasioglossum 属			○	○	○		
843		Sphecodes 属							○
844			ハキリバチ	バラハキリバチ本土亜種				○	
845		ムナカタハキリバチ本土亜種				○			
合計	16 目	204 科	845 種	11 種	374 種	367 種	277 種	237 種	

*1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和4年度生物リスト」(令和4年 国土交通省水情報 国土データ管理センター)に準拠したが、一部他の文献を参考にした。

注) は重要種を示す。

2. 魚類・底生動物調査地点状況

魚類現地調査票

No.1地点(春季)

調査地区	水系名	河川名	地区名	調査箇所番号
	北上川	川	地区	No.1

地点の概況	河川形態	Bc型・Bb-Bc型・(Bb型)・Aa-Bb型・Aa(I)型・Aa(II)型・その他()								
	川幅(m)	0.5~2	感潮の有無	有・(無)・不明		汽水域の有無	有・(無)・不明			
	河床型	(平瀬)・早瀬・S型淵・R型淵・(M型淵)・D型淵・O型淵・とろ・ワンド・その他()								
	河床材料*1	岩盤・泥・砂・(細礫)・(中礫)・粗礫・小石・中石・大石						礫の状況	浮き石・(沈み石)	

水際の状況	護岸等					根固め				草本					木本				裸地											
	コンクリ護岸	鋼矢板	カゴ工	捨石工	木工	そだ工	その他()	コンクリートブロック	木工沈床	そだ沈床	その他()	抽水	浮葉	沈水	浮遊	ヨシ類	その他(低茎草本)	ヤナギ低木(4m未満)	ヤナギ高木(4m以上)	低木(4m未満)	広葉樹(4m以上)	針葉樹(4m以上)	竹林	根茎	岩盤	崖	石礫地	砂礫地	砂泥地	
	20														80	+														+

調査時の状況	調査回	季節	調査年月日	調査時刻	天気	水深(cm)	流速(cm/s)	水温(°C)
	1	春	2022年5月28日	13:00~13:40	晴れ	10~60	5~100	16.5

トラップの設置・回収日時	設置	月	日	回収	月	日
--------------	----	---	---	----	---	---

調査方法	投網	目合	mm	網裾	m	回		
	投網	目合	mm	網裾	m	回		
	○タモ網	目合	2 mm	網幅	40 cm	網高	40 cm	40分 × 1人
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間 × カ統
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間 × カ統
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間 × カ統
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間 × 枚
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間 × 枚
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間 × 枚
	○サデ網	目合	6 mm	網幅	100 cm	網高	80 cm	40分 × 1人
	はえなわ	長さ	m	鈎	号	鈎数	本	時間 × 本
	どう	直径	cm	長さ	cm	時間	×	個
	地曳き網	目合	mm	袖長	m	袖丈	cm	分 × カ統
	玉網	目合	mm	網径	cm	分	×	人
	カゴ網	口径	cm	大きさ	× ×	cm	時間 ×	個
○セルびん	口径	3 cm	直径	18 cm	長さ	30 cm	40分 × 2個	
エレクトロフィッシャー	電圧	V	分	×	人			
潜水観察	分	×	人					
カニカゴ	大きさ	× ×	cm	時間	×	個		

確認状況	種名	生活型	体長区分*3						合計	体長(cm)	
			I	II	III	IV	V	VI		最小	最大
	ドジョウ	淡水性		3	11	2			16	4.0	10.8
	トウヨシノボリ類	不明	3	1	1				5	1.8	5.7
	その他水生生物	種名	個体数*4								

水質調査の状況	調査年月日	pH	電気伝導度(μS/cm)	濁度(FTU)	水温(°C)	溶存酸素(mg/L)
	2022年5月28日	7.8	100	18	16.5	9.1

*1 優占する河床材料について、8割以上が単一の型で占められる場合は第1優占型のみ、それ以外の場合は第1優占型と第2優占型を記録。区分は以下のとおり。
 ・岩盤(岩盤またはコンクリート) ・泥(0.074mm以下) ・砂(0.74~2mm) ・細礫(2~20mm) ・中礫(20~50mm) ・粗礫(50~100mm) ・小石(100~200mm)
 ・中石(200~500mm) ・大石(500mm以上)

*2 水際線(汀線を中心に2m程度の幅)全体に占める区分の割合を10%単位で記録。10%に満たない区分には+印を記入する。

*3 体長区分は次のとおり。 ・ I ≤ 3cm ・ 3cm < II ≤ 5cm ・ 5cm < III ≤ 10cm ・ 10cm < IV ≤ 15cm ・ 15cm < V ≤ 20cm ・ 20cm < VI

*4 10個体までは個体数を記入、それ以上は+(11~100程度)、++(おおよそ100以上)で示す。

魚 類 現 地 調 査 票

No.1地点 (秋季)

調査地区	水系名	河川名	地区名	調査箇所番号
	北上川	— 川	— 地区	No. 1

地点の概況	河川形態	Bc型・Bb-Bc型・(Bb型)・Aa-Bb型・Aa(I)型・Aa(II)型・その他()								
	川幅(m)	0.5~2	感潮の有無	有・(無)・不明	汽水域の有無	有・(無)・不明				
	河床型	(平瀬)・早瀬・S型淵・R型淵・(M型淵)・D型淵・O型淵・とろ・ワンド・その他()								
	河床材料*1	岩盤・泥・砂・(細礫)・(中礫)・粗礫・小石・中石・大石						礫の状況	浮き石・(沈み石)	

水際状況	護岸等						根固め				草 本					木 本				裸 地										
	コンクリ護岸	鋼矢板	カゴ工	捨石工	木工	そだ工	その他()	コンクリートブロック	木工沈床	そだ沈床	その他()	抽水	浮葉	沈水	浮遊	ヨシ類	その他(低茎草本)	ヤナギ低木(4m未満)	ヤナギ高木(4m以上)	低木(4m未満)	広葉樹(4m以上)	針葉樹(4m以上)	竹林	根茎	岩盤	崖	石礫地	砂礫地	砂泥地	
	20														80	+														+

調査時の状況	調査回数	季節	調査年月日	調査時刻	天候	水深(cm)	流速(cm/s)	水温(°C)
	2	秋	2022年10月24日	13:00~13:40	晴れ	10~60	5~60	12.4

トラップの設置・回収日時	設置	月 日	回収	月 日

調査方法	投網	目合	mm	網裾	m	回		
	投網	目合	mm	網裾	m	回		
	○ タモ網	目合	2 mm	網幅	40 cm	網高	40 cm	40分 × 1人
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間 × カ統
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間 × カ統
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間 × カ統
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間 × 枚
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間 × 枚
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間 × 枚
	○ サデ網	目合	6 mm	網幅	100 cm	網高	80 cm	40分 × 1人
	はえなわ	長さ	m	鉤号		鉤数	本	時間 × 本
	どう	直径	cm	長さ	cm	時間	× 個	
	地曳き網	目合	mm	袖長	m	袖丈	cm	分 × カ統
	玉網	目合	mm	網径	cm	分	× 人	
	カゴ網	口径	cm	大きさ	× × cm	時間	× 個	
○ セルびん	口径	3 cm	直径	18 cm	長さ	30 cm	40分 × 2個	
エレクトロフィッシャー	電圧	V	分	× 人				
潜水観察	分	× 人						
カニカゴ	大きさ	× × cm	時間	× 個				

確 認 状 況	種名	生活型	体長区分*3						合計	体長(cm)	
			I	II	III	IV	V	VI	最小	最大	
	モツゴ	淡水性			1				1	5.6	
	ドジョウ	淡水性		1	4	1			6	3.5 10.9	
	トウヨシノボリ類	不明	1	3	2				6	2.7 6.0	
	その他水生生物	種名	個体数*4								

水質調査の状況	調査年月日	pH	電気伝導度(μS/cm)	濁度(FTU)	水温(°C)	溶存酸素(mg/L)
	2022年10月24日	7.8	150	0	16.0	13

*1 優占する河床材料について、8割以上が単一の型で占められる場合は第1優占型のみ、それ以外の場合は第1優占型と第2優占型を記録。区分は以下のとおり。
 ・岩盤(岩盤またはコンクリート) ・泥(0.074mm以下) ・砂(0.74~2mm) ・細礫(2~20mm) ・中礫(20~50mm) ・粗礫(50~100mm) ・小石(100~200mm)
 ・中石(200~500mm) ・大石(500mm以上)

*2 水際線(汀線を中心に2m程度の幅)全体に占める区分の割合を10%単位で記録。10%に満たない区分には+印を記入する。

*3 体長区分は次のとおり。 ・ I ≤ 3cm ・ 3cm < II ≤ 5cm ・ 5cm < III ≤ 10cm ・ 10cm < IV ≤ 15cm ・ 15cm < V ≤ 20cm ・ 20cm < VI

*4 10個体までは個体数を記入、それ以上は+(11~100程度)、++(おおよそ100以上)で示す。

魚類現地調査票

No.2地点(春季)

調査地区	水系名	河川名	地区名	調査箇所番号
	北上川	川	地区	No.2

地点の概況	河川形態	Bc型・Bb-Bc型・Bb型・Aa-Bb型・Aa(I)型・Aa(II)型・その他(細流)				
	川幅(m)	0.5~1	感潮の有無	有・無・不明	汽水域の有無	有・無・不明
	河床型	平瀬・早瀬・S型淵・R型淵・M型淵・D型淵・O型淵・とろ・ワンド・その他				
	河床材料*1	岩盤・泥・砂・細礫・中礫・粗礫・小石			礫の状況	

水際の状況	護岸等						根固め				草本					木本				裸地								
	コンクリ護岸	鋼矢板	カゴ工	捨石工	木工	そだ工	その他	コンクリートブロック	木工沈床	そだ沈床	その他	抽水	浮葉	沈水	浮遊	ヨシ類	その他(低茎草本)	ヤナギ低木(4m未満)	ヤナギ高木(4m以上)	低木(4m未満)	広葉樹(4m以上)	針葉樹(4m以上)	竹林	根茎	岩盤	崖	石礫地	砂礫地
																10			+	+			10	10			40	30

調査時の状況	調査回	季節	調査年月日	調査時刻	天気	水深(cm)	流速(cm/s)	水温(°C)
	1	春	2022年5月28日	14:00~14:40	晴れ	5~20	0~40	15.8

トラップの設置・回収日時	設置	月	日	回収	月	日
--------------	----	---	---	----	---	---

調査方法	投網	目合	mm	網裾	m	回				
	投網	目合	mm	網裾	m	回				
	○タモ網	目合	2mm	網幅	40cm	網高	40cm	40分	×	2人
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間	×	カ統
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間	×	カ統
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間	×	カ統
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間	×	枚
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間	×	枚
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間	×	枚
	サデ網	目合	6mm	網幅	cm	網高	cm	分	×	人
	はえなわ	長さ	m	鈎	号	鈎数	本	時間	×	本
	どう	直径	cm	長さ	cm	時間	×	個		
	地曳き網	目合	mm	袖長	m	袖丈	cm	分	×	カ統
	玉網	目合	mm	網径	cm	分	×	人		
	カゴ網	口径	cm	大きさ	×	×	cm	時間	×	個
セルピン	口径	cm	直径	cm	長さ	cm	分	×	個	
エレクトロフィッシャー	電圧	V	分	×	人					
潜水観察	分	×	人							
カニカゴ	大きさ	×	×	cm	時間	×	個			

確認状況	種名	生活型	体長区分*3						合計	体長(cm)		
			I	II	III	IV	V	VI		最小	最大	
		ドジョウ	淡水性		2	3				5	4.4	8.6
		トウヨシノボリ類	不明			1				1		4.6
		その他水生生物		種名	個体数*4							

水質調査の状況	調査年月日	pH	電気伝導度(μS/cm)	濁度(FTU)	水温(°C)	溶存酸素(mg/L)
	2022年5月28日	7.4	150	6	15.6	8.9

*1 優占する河床材料について、8割以上が単一の型で占められる場合は第1優占型のみ、それ以外の場合は第1優占型と第2優占型を記録。区分は以下のとおり。
 ・岩盤(岩盤またはコンクリート) ・泥(0.074mm以下) ・砂(0.74~2mm) ・細礫(2~20mm) ・中礫(20~50mm) ・粗礫(50~100mm) ・小石(100~200mm)
 ・中石(200~500mm) ・大石(500mm以上)

*2 水際線(汀線を中心に2m程度の幅)全体に占める区分の割合を10%単位で記録。10%に満たない区分には+印を記入する。

*3 体長区分は次のとおり。 ・ I ≤ 3cm ・ 3cm < II ≤ 5cm ・ 5cm < III ≤ 10cm ・ 10cm < IV ≤ 15cm ・ 15cm < V ≤ 20cm ・ 20cm < VI

*4 10個体までは個体数を記入、それ以上は+(11~100程度)、++(おおよそ100以上)で示す。

魚類現地調査票

No.2地点(秋季)

調査地区	水系名	河川名	地区名	調査箇所番号
	北上川	川	地区	No.2

地点の概況	河川形態	Bc型・Bb-Bc型・Bb型・Aa-Bb型・Aa(I)型・Aa(II)型・その他(細流)						
	川幅(m)	0.5~1	感潮の有無	有・無・不明	汽水域の有無	有・無・不明		
	河床型	平瀬・早瀬・S型淵・R型淵・M型淵・D型淵・O型淵・とろ・ワンド・その他						
	河床材料*1	岩盤・泥・砂・細礫・中礫・粗礫・小石					礫の状況	

水際の状況	護岸等						根固め				草本					木本				裸地							
	コンクリ護岸	鋼矢板	カゴ工	捨石工	木工	その他	コンクリートブロック	木工沈床	その他	抽水	浮葉	沈水	浮遊	ヨシ類	その他(低茎草本)	ヤナギ低木(4m未満)	ヤナギ高木(4m以上)	低木(4m未満)	広葉樹(4m以上)	針葉樹(4m以上)	竹林	根茎	岩盤	崖	石礫地	砂礫地	砂泥地
																	+	+				10				40	30

調査時の状況	調査回	季節	調査年月日	調査時刻	天気	水深(cm)	流速(cm/s)	水温(°C)
	2	秋	2022年10月24日	13:40~14:20	晴れ	5~20	0~40	12.5

トラップの設置・回収日時	設置	月	日	回収	月	日
--------------	----	---	---	----	---	---

調査方法	投網	目合	mm	網裾	m	回		
	投網	目合	mm	網裾	m	回		
	○タモ網	目合	2mm	網幅	40cm	網高	40cm	40分×2人
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間×カ統
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間×カ統
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間×カ統
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間×枚
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間×枚
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間×枚
	サデ網	目合	6mm	網幅	cm	網高	cm	分×人
	はえなわ	長さ	m	鈎	号	鈎数	本	時間×本
	どう	直径	cm	長さ	cm	時間	×	個
	地曳き網	目合	mm	袖長	m	袖丈	cm	分×カ統
	玉網	目合	mm	網径	cm	分	×	人

確認状況	種名	生活型	体長区分*3						合計	体長(cm)	
			I	II	III	IV	V	VI	最小	最大	
	アブラハヤ	淡水性	1	1	1				3	2.6	7.1
	ドジョウ	淡水性		3	5	3			11	4.7	10.2
	トウヨシノボリ類	不明			1				1		5.5
	その他水生生物	種名	個体数*4								

水質調査の状況	調査年月日	pH	電気伝導度(μS/cm)	濁度(FTU)	水温(°C)	溶存酸素(mg/L)
	2022年10月24日	7.6	170	0	16.9	13

*1 優占する河床材料について、8割以上が単一の型で占められる場合は第1優占型のみ、それ以外の場合は第1優占型と第2優占型を記録。区分は以下のとおり。
 ・岩盤(岩盤またはコンクリート) ・泥(0.074mm以下) ・砂(0.74~2mm) ・細礫(2~20mm) ・中礫(20~50mm) ・粗礫(50~100mm) ・小石(100~200mm)
 ・中石(200~500mm) ・大石(500mm以上)

*2 水際線(汀線を中心に2m程度の幅)全体に占める区分の割合を10%単位で記録。10%に満たない区分には+印を記入する。

*3 体長区分は次のとおり。 ・ I ≤ 3cm ・ 3cm < II ≤ 5cm ・ 5cm < III ≤ 10cm ・ 10cm < IV ≤ 15cm ・ 15cm < V ≤ 20cm ・ 20cm < VI

*4 10個体までは個体数を記入、それ以上は+(11~100程度)、++(おおよそ100以上)で示す。

魚類現地調査票

No.3地点(春季)

調査地区	水系名	河川名	地区名	調査箇所番号
	北上川	川	地区	No.3

地点の概況	河川形態	Bc型・Bb-Bc型・(Bb型)・Aa-Bb型・Aa(I)型・Aa(II)型・その他()						
	川幅(m)	1~3	感潮の有無	有・(無)・不明	汽水域の有無	有・(無)・不明		
	河床型	(平瀬)・早瀬・S型淵・R型淵・(M型淵)・D型淵・O型淵・とろ・ワンド・その他()						
	河床材料*1	岩盤・泥・砂・細礫・中礫・(粗礫)・(小石)・中石・大石					礫の状況 (浮き石)・沈み石	

水際の状況	護岸等					根固め				草本				木本				裸地										
	コンクリート護岸	鋼矢板	カゴ工	捨石工	木工	そだ工	その他()	コンクリートブロック	木工沈床	そだ沈床	その他()	抽水	浮葉	沈水	浮遊	ヨシ類	その他(低茎草本)	ヤナギ低木(4m未満)	ヤナギ高木(4m以上)	低木(4m未満)	広葉樹(4m以上)	針葉樹(4m以上)	竹林	根茎	岩盤	崖	石礫地	砂礫地
	+																		+	+			+	50		10	+	+

調査時の状況	調査回	季節	調査年月日	調査時刻	天候	水深(cm)	流速(cm/s)	水温(°C)
	1	春	2022年5月28日	11:50~12:30	曇り	10~40	0~60	16.0

トラップの設置・回収日時	設置	月	日	回収	月	日
--------------	----	---	---	----	---	---

調査方法	投網	目合	mm	網裾	m	回		
	投網	目合	mm	網裾	m	回		
	○タモ網	目合	2 mm	網幅	40 cm	網高	40 cm	40分 × 1人
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間 × カ統
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間 × カ統
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間 × カ統
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間 × 枚
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間 × 枚
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間 × 枚
	○サデ網	目合	6 mm	網幅	100 cm	網高	80 cm	40分 × 1人
	はえなわ	長さ	m	鈎	号	鈎数	本	時間 × 本
	どう	直径	cm	長さ	cm	時間	×	個
	地曳き網	目合	mm	袖長	m	袖丈	cm	分 × カ統
	玉網	目合	mm	網径	cm	分	×	人
	○カゴ網	口径	cm	大きさ	× ×	cm	時間 ×	個
○セルびん	口径	3 cm	直径	18 cm	長さ	30 cm	40分 × 2個	
エレクトロフィッシャー	電圧	V	分	×	人			
潜水観察	分	×	人					
カニカゴ	大きさ	× ×	cm	時間	×	個		

確認状況	種名	生活型	体長区分*3						合計	体長(cm)	
			I	II	III	IV	V	VI		最小	最大
	ギンブナ	淡水性			1				1		9.7
	アブラハヤ	淡水性		1	1				2	3.9	6.2
	ドジョウ	淡水性			7	1			8	5.3	10.7
	オオクチバス	淡水性				1			1		13.8
	トウヨシノボリ類	不明			1				1		5.1
	その他水生生物	種名	個体数*4								

水質調査の状況	調査年月日	pH	電気伝導度(μS/cm)	濁度(FTU)	水温(°C)	溶存酸素(mg/L)
	2022年5月28日	7.5	95	19	15.9	9.4

*1 優占する河床材料について、8割以上が単一の型で占められる場合は第1優占型のみ、それ以外の場合は第1優占型と第2優占型を記録。区分は以下のとおり。

・岩盤(岩盤またはコンクリート) ・泥(0.074mm以下) ・砂(0.74~2mm) ・細礫(2~20mm) ・中礫(20~50mm) ・粗礫(50~100mm) ・小石(100~200mm) ・中石(200~500mm) ・大石(500mm以上)

*2 水際線(汀線を中心に2m程度の幅)全体に占める区分の割合を10%単位で記録。10%に満たない区分には+印を記入する。

*3 体長区分は次のとおり。 ・ I ≤ 3cm ・ 3cm < II ≤ 5cm ・ 5cm < III ≤ 10cm ・ 10cm < IV ≤ 15cm ・ 15cm < V ≤ 20cm ・ 20cm < VI

*4 10個体までは個体数を記入、それ以上は+(11~100程度)、++(おおよそ100以上)で示す。

魚類現地調査票

No.3地点(秋季)

調査地区	水系名	河川名	地区名	調査箇所番号
	北上川	川	地区	No.3

地点の概況	河川形態	Bc型・Bb-Bc型・(Bb型)・Aa-Bb型・Aa(I)型・Aa(II)型・その他()						
	川幅(m)	1~3	感潮の有無	有・(無)・不明	汽水域の有無	有・(無)・不明		
	河床型	(平瀬)・早瀬・S型淵・R型淵・(M型淵)・D型淵・O型淵・とろ・ワンド・その他()						
	河床材料*1	岩盤・泥・砂・細礫・中礫・(粗礫)・(小石)・中石・大石					礫の状況 (浮き石)・沈み石	

水際の状況	護岸等						根固め				草本					木本				裸地								
	コンクリート護岸	鋼矢板	カゴ工	捨石工	木工	そだ工	その他()	コンクリートブロック	木工沈床	そだ沈床	その他()	抽水	浮葉	沈水	浮遊	ヨシ類	その他(低茎草本)	ヤナギ低木(4m未満)	ヤナギ高木(4m以上)	低木(4m未満)	広葉樹(4m以上)	針葉樹(4m以上)	竹林	根茎	岩盤	崖	石礫地	砂礫地
	+																		+	+			+	50		10	+	+

調査時の状況	調査回数	季節	調査年月日	調査時刻	天気	水深(cm)	流速(cm/s)	水温(°C)
	2	秋	2022年10月25日	10:30~11:10	晴れ	10~40	0~60	8.5

トラップの設置・回収日時	設置	月	日	回収	月	日
--------------	----	---	---	----	---	---

調査方法	投網	目合	mm	網裾	m	回		
	投網	目合	mm	網裾	m	回		
	○ タモ網	目合	2 mm	網幅	40 cm	網高	40 cm	40分 × 1人
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間 × カ統
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間 × カ統
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間 × カ統
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間 × 枚
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間 × 枚
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間 × 枚
	○ サデ網	目合	6 mm	網幅	100 cm	網高	80 cm	40分 × 1人
	はえなわ	長さ	m	鉤	号	鉤数	本	時間 × 本
	どう	直径	cm	長さ	cm	時間	×	個
	地曳き網	目合	mm	袖長	m	袖丈	cm	分 × カ統
	玉網	目合	mm	網径	cm	分	×	人
	○ カゴ網	口径	cm	大きさ	× ×	cm	時間 ×	個
○ セルびん	口径	3 cm	直径	18 cm	長さ	30 cm	40分 × 2個	
エレクトロフィッシャー	電圧	V	分	×	人			
潜水観察	分	×	人					
カニカゴ	大きさ	× ×	cm	時間	×	個		

確認状況	種名	生活型	体長区分*3						合計	体長(cm)	
			I	II	III	IV	V	VI	最小	最大	
	フナ属	淡水性				2			2	11.0	12.0
	アブラハヤ	淡水性			4				4	6.5	7.8
	ドジョウ	淡水性		1	1	1			3	3.8	10.9
	オオクチバス	淡水性			1				1		8.0
	トウヨシノボリ類	不明		2					2	4.7	5.0
	その他水生生物	種名	個体数*4								

水質調査の状況	調査年月日	pH	電気伝導度(μS/cm)	濁度(FTU)	水温(°C)	溶存酸素(mg/L)
	2022年10月24日	7.9	160	0	16.2	11

*1 優占する河床材料について、8割以上が単一の型で占められる場合は第1優占型のみ、それ以外の場合は第1優占型と第2優占型を記録。区分は以下のとおり。

・岩盤(岩盤またはコンクリート) ・泥(0.074mm以下) ・砂(0.74~2mm) ・細礫(2~20mm) ・中礫(20~50mm) ・粗礫(50~100mm) ・小石(100~200mm) ・中石(200~500mm) ・大石(500mm以上)

*2 水際線(汀線を中心に2m程度の幅)全体に占める区分の割合を10%単位で記録。10%に満たない区分には+印を記入する。

*3 体長区分は次のとおり。 ・ I ≤ 3cm ・ 3cm < II ≤ 5cm ・ 5cm < III ≤ 10cm ・ 10cm < IV ≤ 15cm ・ 15cm < V ≤ 20cm ・ 20cm < VI

*4 10個体までは個体数を記入、それ以上は+(11~100程度)、++(おおよそ100以上)を示す。

魚類現地調査票

No.4地点(春季)

調査地区	水系名	河川名	地区名	調査箇所番号
	北上川	川	地区	No.4

地点の概況	河川形態	Bc型・Bb-Bc型・Bb型・Aa-Bb型・Aa(I)型・Aa(II)型・(その他(溜め池))						
	川幅(m)	100×150	感潮の有無	有・(無)・不明	汽水域の有無	有・(無)・不明		
	河床型	平瀬・早瀬・S型淵・R型淵・M型淵・D型淵・O型淵・とろ・ワンド・(その他(谷池))						
	河床材料*1	岩盤・泥・(砂)・(細礫)・中礫・粗礫・小石・中石・大石					礫の状況	浮き石・(沈み石)

水際状況	護岸等					根固め				草本					木本				裸地										
	コンクリ護岸	鋼矢板	カゴ工	捨石工	木工	そだ工	その他()	コンクリートブロック	木工沈床	そだ沈床	その他()	抽水	浮葉	沈水	浮遊	ヨシ類	その他()	ヤナギ低木(4m未満)	ヤナギ高木(4m以上)	低木(4m未満)	広葉樹(4m以上)	針葉樹(4m以上)	竹林	根茎	岩盤	崖	石礫地	砂礫地	砂泥地
	+													10	80													10	+

調査時の状況	調査回	季節	調査年月日	調査時刻	天気	水深(cm)	流速(cm/s)	水温(°C)
	1	春	2022年5月29日	9:30~10:30	晴れ	200	0	21.8

トラップの設置・回収日時	設置	5月28日 15:00	回収	5月29日 8:30
--------------	----	-------------	----	------------

調査方法	<input type="checkbox"/>	投網	目合 12 mm	網裾 19 m	10 回	
	<input type="checkbox"/>	投網	目合 mm	網裾 m	回	
	<input type="checkbox"/>	タモ網	目合 2 mm	網幅 40 cm	網高 40 cm	30分 × 1人
	<input type="checkbox"/>	定置網	袖長 m	袖丈 cm	直径 cm	時間 × カ統
	<input type="checkbox"/>	定置網	袖長 m	袖丈 cm	直径 cm	時間 × カ統
	<input type="checkbox"/>	定置網	袖長 m	袖丈 cm	直径 cm	時間 × カ統
	<input type="checkbox"/>	刺網	目合 15 mm	網長 25 m	網丈 150 cm	17.5時間 × 1枚
	<input type="checkbox"/>	刺網	目合 50 mm	網長 25 m	網丈 150 cm	17.5時間 × 1枚
	<input type="checkbox"/>	刺網	目合 mm	網長 m	網丈 cm	時間 × 枚
	<input type="checkbox"/>	サデ網	目合 6 mm	網幅 100 cm	網高 80 cm	30分 × 1人
	<input type="checkbox"/>	はえなわ	長さ 10 m	鉤 12号	鉤数 10本	17.5時間 × 1本
	<input type="checkbox"/>	どう	直径 cm	長さ cm	時間 × 個	
	<input type="checkbox"/>	地曳き網	目合 mm	袖長 m	袖丈 cm	分 × カ統
	<input type="checkbox"/>	玉網	目合 mm	網径 cm	分 × 人	
	<input type="checkbox"/>	カゴ網	口径 cm	大きさ × × cm	時間 × 個	
<input type="checkbox"/>	セルびん	口径 3 cm	直径 18 cm	長さ 30 cm	60分 × 2個	
<input type="checkbox"/>	エレクトロフィッシャー	電圧 V	分 × 人			
<input type="checkbox"/>	潜水観察	分 × 人				
<input type="checkbox"/>	カニカゴ	大きさ × × cm	時間 × 個			

確認状況	種名	生活型	体長区分*3						合計	体長(cm)	
			I	II	III	IV	V	VI		最小	最大
	カラドジョウ	淡水性			1				1		7.7
	オオクチバス	淡水性	102				3		105	1.6	17.2
	その他水生生物	種名	個体数*4								

水質調査の状況	調査年月日	pH	電気伝導度(μS/cm)	濁度(FTU)	水温(°C)	溶存酸素(mg/L)
	2022年5月28日	7.6	100	0	21.3	8.7

*1 優占する河床材料について、8割以上が単一の型で占められる場合は第1優占型のみ、それ以外の場合は第1優占型と第2優占型を記録。区分は以下のとおり。

・岩盤(岩盤またはコンクリート) ・泥(0.074mm以下) ・砂(0.74~2mm) ・細礫(2~20mm) ・中礫(20~50mm) ・粗礫(50~100mm) ・小石(100~200mm) ・中石(200~500mm) ・大石(500mm以上)

*2 水際線(汀線を中心に2m程度の幅)全体に占める区分の割合を10%単位で記録。10%に満たない区分には+印を記入する。

*3 体長区分は次のとおり。 ・ I ≤ 3cm ・ 3cm < II ≤ 5cm ・ 5cm < III ≤ 10cm ・ 10cm < IV ≤ 15cm ・ 15cm < V ≤ 20cm ・ 20cm < VI

*4 10個体までは個体数を記入、それ以上は+(11~100程度)、++(おおよそ100以上)で示す。

魚類現地調査票

No.4地点(秋季)

調査地区	水系名	河川名	地区名	調査箇所番号
	北上川	川	地区	No.4

地点の概況	河川形態	Bc型・Bb-Bc型・Bb型・Aa-Bb型・Aa(I)型・Aa(II)型・(その他(溜め池))						
	川幅(m)	100×150	感潮の有無	有・(無)・不明		汽水域の有無	有・(無)・不明	
	河床型	平瀬・早瀬・S型淵・R型淵・M型淵・D型淵・O型淵・とろ・ワンド・(その他(谷池))						
	河床材料*1	岩盤・泥・(砂)・(細礫)・中礫・粗礫・小石・中石・大石					礫の状況	浮き石・(沈み石)

水際の状況	護岸等						根固め				草本					木本				裸地									
	コンクリ護岸	鋼矢板	カゴ工	捨石工	木工	そだ工	その他()	コンクリートブロック	木工沈床	そだ沈床	その他()	抽水	浮葉	沈水	浮遊	ヨシ類	その他()	ヤナギ低木(4m未満)	ヤナギ高木(4m以上)	低木(4m未満)	広葉樹(4m以上)	針葉樹(4m以上)	竹林	根茎	岩盤	崖	石礫地	砂礫地	砂泥地
	+													10	80													10	+

調査時の状況	調査回	季節	調査年月日	調査時刻	天気	水深(cm)	流速(cm/s)	水温(°C)
	2	秋	2022年10月25日	9:00~10:00	晴れ	200	0	12.2

トラップの設置・回収日時	設置	10月24日 15:00	回収	10月25日 8:30
--------------	----	--------------	----	-------------

調査方法	<input type="checkbox"/>	投網	・目合 12 mm	・網裾 19 m	・10 回
	<input type="checkbox"/>	タモ網	・目合 2 mm	・網幅 40 cm	・網高 40 cm
	<input type="checkbox"/>	定置網	・袖長 m	・袖丈 cm	・直径 cm
	<input type="checkbox"/>	定置網	・袖長 m	・袖丈 cm	・直径 cm
	<input type="checkbox"/>	定置網	・袖長 m	・袖丈 cm	・直径 cm
	<input type="checkbox"/>	刺網	・目合 20 mm	・網長 25 m	・網丈 150 cm
	<input type="checkbox"/>	刺網	・目合 50 mm	・網長 25 m	・網丈 150 cm
	<input type="checkbox"/>	刺網	・目合 mm	・網長 m	・網丈 cm
	<input type="checkbox"/>	サデ網	・目合 6 mm	・網幅 100 cm	・網高 80 cm
	<input type="checkbox"/>	はえなわ	・長さ 10 m	・鉤 12 号	・鉤数 10 本
	<input type="checkbox"/>	どう	・直径 cm	・長さ cm	・時間 × 個
	<input type="checkbox"/>	地曳き網	・目合 mm	・袖長 m	・袖丈 cm
	<input type="checkbox"/>	玉網	・目合 mm	・網径 cm	・分 × 人
	<input type="checkbox"/>	カゴ網	・口径 cm	・大きさ × × cm	・時間 × 個
	<input type="checkbox"/>	セルびん	・口径 3 cm	・直径 18 cm	・長さ 30 cm
<input type="checkbox"/>	エレクトロフィッシャー	・電圧 V	・分 × 人		
<input type="checkbox"/>	潜水観察	・分 × 人			
<input type="checkbox"/>	カニカゴ	・大きさ × × cm	・時間 × 個		

確認状況	種名	生活型	体長区分*3						合計	体長(cm)		
			I	II	III	IV	V	VI		最小	最大	
		ドジョウ	淡水性		2					2	3.9	4.7
		オオクチバス	淡水性			3			3	6	6.0	16.1
		その他水生生物		種名	個体数*4							

水質調査の状況	調査年月日	pH	電気伝導度(μS/cm)	濁度(FTU)	水温(°C)	溶存酸素(mg/L)
	2022年10月24日	7.2	140	0	18.0	8.6

*1 優占する河床材料について、8割以上が単一の型で占められる場合は第1優占型のみ、それ以外の場合は第1優占型と第2優占型を記録。区分は以下のとおり。

・岩盤(岩盤またはコンクリート) ・泥(0.074mm以下) ・砂(0.74~2mm) ・細礫(2~20mm) ・中礫(20~50mm) ・粗礫(50~100mm) ・小石(100~200mm) ・中石(200~500mm) ・大石(500mm以上)

*2 水際線(汀線を中心に2m程度の幅)全体に占める区分の割合を10%単位で記録。10%に満たない区分には+印を記入する。

*3 体長区分は次のとおり。 ・ I ≤ 3cm ・ 3cm < II ≤ 5cm ・ 5cm < III ≤ 10cm ・ 10cm < IV ≤ 15cm ・ 15cm < V ≤ 20cm ・ 20cm < VI

*4 10個体までは個体数を記入、それ以上は+(11~100程度)、++(おおよそ100以上)で示す。

魚類現地調査票

No.5地点(春季)

調査地区	水系名	河川名	地区名	調査箇所番号
	北上川	川	地区	No.5

地点の概況	河川形態	Bc型・Bb-Bc型・Bb型・Aa-Bb型・Aa(I)型・Aa(II)型・その他(溜め池)									
	川幅(m)	20×50	感潮の有無	有・無・不明			汽水域の有無	有・無・不明			
	河床型	平瀬・早瀬・S型淵・R型淵・M型淵・D型淵・O型淵・とろ・ワンド・その他(谷池)									
	河床材料*1	岩盤・泥・砂・細礫・中礫・粗礫・小石・中石・大石							礫の状況	浮き石・沈み石	

水際の状況	護岸等						根固め				草本					木本				裸地							
	コンクリ護岸	鋼矢板	カゴ工	捨石工	木工	その他	コンクリートブロック	木工沈床	その他	その他	抽水	浮葉	沈水	浮遊	ヨシ類	その他(低茎草本)	ヤナギ低木(4m未満)	ヤナギ高木(4m以上)	低木(4m未満)	広葉樹(4m以上)	針葉樹(4m以上)	竹林	根茎	岩盤	崖	石礫地	砂礫地
													10	10	50			10	20			+					+

調査時の状況	調査回	季節	調査年月日	調査時刻	天気	水深(cm)	流速(cm/s)	水温(°C)
	1	春	2022年5月28日	9:00~9:40	曇り	200	0	17.3

トラップの設置・回収日時	設置	月	日	回収	月	日
--------------	----	---	---	----	---	---

調査方法	投網	目合	mm	網裾	m	回				
	投網	目合	mm	網裾	m	回				
	○ タモ網	目合	2 mm	網幅	40 cm	網高	40 cm	40分	×	1人
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間	×	カ統
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間	×	カ統
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間	×	カ統
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間	×	枚
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間	×	枚
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間	×	枚
	○ サデ網	目合	6 mm	網幅	100 cm	網高	80 cm	40分	×	1人
	はえなわ	長さ	m	鈎	号	鈎数	本	時間	×	本
	どう	直径	cm	長さ	cm	時間	×	個		
	地曳き網	目合	mm	袖長	m	袖丈	cm	分	×	カ統
	玉網	目合	mm	網径	cm	分	×	人		
	カゴ網	口径	cm	大きさ	×	×	cm	時間	×	個
○ セルびん	口径	3 cm	直径	18 cm	長さ	30 cm	40分	×	2個	
エレクトロフィッシャー	電圧	V	分	×	人					
潜水観察	分	×	人							
カニカゴ	大きさ	×	×	cm	時間	×	個			

確認状況	種名	生活型	体長区分*3						合計	体長(cm)	
			I	II	III	IV	V	VI	最小	最大	
	フナ属	淡水性			10				10	5.6	8.9
	その他水生生物	種名	個体数*4								

水質調査の状況	調査年月日	pH	電気伝導度(μS/cm)	濁度(FTU)	水温(°C)	溶存酸素(mg/L)
	2022年5月28日	7.7	37	3	17.6	4.4

*1 優占する河床材料について、8割以上が単一の型で占められる場合は第1優占型のみ、それ以外の場合は第1優占型と第2優占型を記録。区分は以下のとおり。
 ・岩盤(岩盤またはコンクリート) ・泥(0.074mm以下) ・砂(0.74~2mm) ・細礫(2~20mm) ・中礫(20~50mm) ・粗礫(50~100mm) ・小石(100~200mm)
 ・中石(200~500mm) ・大石(500mm以上)

*2 水際線(汀線を中心に2m程度の幅)全体に占める区分の割合を10%単位で記録。10%に満たない区分には+印を記入する。

*3 体長区分は次のとおり。 ・ I ≤ 3cm ・ 3cm < II ≤ 5cm ・ 5cm < III ≤ 10cm ・ 10cm < IV ≤ 15cm ・ 15cm < V ≤ 20cm ・ 20cm < VI

*4 10個体までは個体数を記入、それ以上は+(11~100程度)、++(おおよそ100以上)で示す。

魚類現地調査票

No.5地点(秋季)

調査地区	水系名	河川名	地区名	調査箇所番号
	北上川	川	地区	No.5

地点の概況	河川形態	Bc型・Bb-Bc型・Bb型・Aa-Bb型・Aa(I)型・Aa(II)型・その他(溜め池)									
	川幅(m)	20×50	感潮の有無	有・無・不明			汽水域の有無	有・無・不明			
	河床型	平瀬・早瀬・S型淵・R型淵・M型淵・D型淵・O型淵・とろ・ワンド・その他(谷池)									
	河床材料*1	岩盤・泥・砂・細礫・中礫・粗礫・小石・中石・大石							礫の状況	浮き石・沈み石	

水際の状況	護岸等						根固め				草本					木本				裸地								
	コンクリ護岸	鋼矢板	カゴ工	捨石工	木工	その他	コンクリートブロック	木工沈床	その他	その他	抽水	浮葉	沈水	浮遊	ヨシ類	その他(低茎草本)	ヤナギ低木(4m未満)	ヤナギ高木(4m以上)	低木(4m未満)	広葉樹(4m以上)	針葉樹(4m以上)	竹林	根茎	岩盤	崖	石礫地	砂礫地	砂泥地
													10	10	50			10	20			+						+

調査時の状況	調査回数	季節	調査年月日	調査時刻	天気	水深(cm)	流速(cm/s)	水温(°C)
	2	秋	2022年10月24日	9:00~9:40	曇り	200	0	11.3

トラップの設置・回収日時	設置	月	日	回収	月	日
--------------	----	---	---	----	---	---

調査方法	投網	目合	mm	網裾	m	回				
	投網	目合	mm	網裾	m	回				
	○タモ網	目合	2mm	網幅	40cm	網高	40cm	40分	×	1人
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間	×	カ統
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間	×	カ統
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間	×	カ統
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間	×	枚
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間	×	枚
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間	×	枚
	○サデ網	目合	6mm	網幅	100cm	網高	80cm	40分	×	1人
	はえなわ	長さ	m	鈎	号	鈎数	本	時間	×	本
	どう	直径	cm	長さ	cm	時間	×	個		
	地曳き網	目合	mm	袖長	m	袖丈	cm	分	×	カ統
	玉網	目合	mm	網径	cm	分	×	人		
	カゴ網	口径	cm	大きさ	×	×	cm	時間	×	個
○セルびん	口径	3cm	直径	18cm	長さ	30cm	40分	×	2個	
エレクトロフィッシャー	電圧	V	分	×	人					
潜水観察	分	×	人							
カニカゴ	大きさ	×	×	cm	時間	×	個			

確認状況	種名	生活型	体長区分*3						合計	体長(cm)	
			I	II	III	IV	V	VI	最小	最大	
	フナ属	淡水性			6				6	6.5	8.3
	その他水生生物	種名	個体数*4								

水質調査の状況	調査年月日	pH	電気伝導度(μS/cm)	濁度(FTU)	水温(°C)	溶存酸素(mg/L)
	2022年10月24日	7.4	55	0	15.5	7.4

*1 優占する河床材料について、8割以上が単一の型で占められる場合は第1優占型のみ、それ以外の場合は第1優占型と第2優占型を記録。区分は以下のとおり。
 ・岩盤(岩盤またはコンクリート) ・泥(0.074mm以下) ・砂(0.74~2mm) ・細礫(2~20mm) ・中礫(20~50mm) ・粗礫(50~100mm) ・小石(100~200mm)
 ・中石(200~500mm) ・大石(500mm以上)

*2 水際線(汀線を中心に2m程度の幅)全体に占める区分の割合を10%単位で記録。10%に満たない区分には+印を記入する。

*3 体長区分は次のとおり。 ・ I ≤ 3cm ・ 3cm < II ≤ 5cm ・ 5cm < III ≤ 10cm ・ 10cm < IV ≤ 15cm ・ 15cm < V ≤ 20cm ・ 20cm < VI

*4 10個体までは個体数を記入、それ以上は+(11~100程度)、++(おおよそ100以上)で示す。

魚類現地調査票

No.6地点(春季)

調査地区	水系名	河川名	地区名	調査箇所番号
	北上川	川	地区	No.6

地点の概況	河川形態	Bc型・Bb-Bc型・Bb型・Aa-Bb型・Aa(I)型・Aa(II)型・その他(水路)									
	川幅(m)	0.5~2	感潮の有無	有・無・不明			汽水域の有無	有・無・不明			
	河床型	平瀬・早瀬・S型淵・R型淵・M型淵・D型淵・O型淵・とろ・ワンド・その他									
	河床材料*1	岩盤・泥・砂・細礫・中礫・粗礫・小石・中石・大石							礫の状況	浮き石・沈み石	

水際の状況	護岸等					根固め				草本					木本				裸地											
	コンクリ護岸	鋼矢板	カゴ工	捨石工	木工	そだ工	その他	コンクリートブロック	木工沈床	そだ沈床	その他	抽水	浮葉	沈水	浮遊	ヨシ類	その他(低茎草本)	ヤナギ低木(4m未満)	ヤナギ高木(4m以上)	低木(4m未満)	広葉樹(4m以上)	針葉樹(4m以上)	竹林	根茎	岩盤	崖	石礫地	砂礫地	砂泥地	
	10														40	50														+

調査時の状況	調査回	季節	調査年月日	調査時刻	天気	水深(cm)	流速(cm/s)	水温(°C)
	1	春	2022年5月28日	10:30~11:10	曇り	10~50	0~150	15.5

トラップの設置・回収日時	設置	月	日	回収	月	日
--------------	----	---	---	----	---	---

調査方法	投網	目合	mm	網裾	m	回				
	投網	目合	mm	網裾	m	回				
	○タモ網	目合	2mm	網幅	40cm	網高	40cm	40分	×	1人
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間	×	カ統
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間	×	カ統
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間	×	カ統
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間	×	枚
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間	×	枚
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間	×	枚
	○サデ網	目合	6mm	網幅	100cm	網高	80cm	40分	×	1人
	はえなわ	長さ	m	鈎	号	鈎数	本	時間	×	本
	どう	直径	cm	長さ	cm	時間	×	個		
	地曳き網	目合	mm	袖長	m	袖丈	cm	分	×	カ統
	玉網	目合	mm	網径	cm	分	×	人		
	カゴ網	口径	cm	大きさ	×	×	cm	時間	×	個
○セルびん	口径	3cm	直径	18cm	長さ	30cm	40分	×	2個	
エレクトロフィッシャー	電圧	V	分	×	人					
潜水観察	分	×	人							
カニカゴ	大きさ	×	×	cm	時間	×	個			

確認状況	種名	生活型	体長区分*3						合計	体長(cm)	
			I	II	III	IV	V	VI	最小	最大	
	ギンブナ	淡水性				1			1	12.2	
	フナ属	淡水性		1	1				2	4.9	7.4
	アブラハヤ	淡水性		25	11	2			38	3.9	11.4
	ドジョウ	淡水性			11				11	5.2	9.2
	その他水生生物	種名	個体数*4								

水質調査の状況	調査年月日	pH	電気伝導度(μS/cm)	濁度(FTU)	水温(°C)	溶存酸素(mg/L)
	2022年5月28日	7.3	87	22	15.8	9.6

*1 優占する河床材料について、8割以上が単一の型で占められる場合は第1優占型のみ、それ以外の場合は第1優占型と第2優占型を記録。区分は以下のとおり。

・岩盤(岩盤またはコンクリート) ・泥(0.074mm以下) ・砂(0.74~2mm) ・細礫(2~20mm) ・中礫(20~50mm) ・粗礫(50~100mm) ・小石(100~200mm) ・中石(200~500mm) ・大石(500mm以上)

*2 水際線(汀線を中心に2m程度の幅)全体に占める区分の割合を10%単位で記録。10%に満たない区分には+印を記入する。

*3 体長区分は次のとおり。 ・ I ≤ 3cm ・ 3cm < II ≤ 5cm ・ 5cm < III ≤ 10cm ・ 10cm < IV ≤ 15cm ・ 15cm < V ≤ 20cm ・ 20cm < VI

*4 10個体までは個体数を記入、それ以上は+(11~100程度)、++(おおよそ100以上)で示す。

魚 類 現 地 調 査 票

No. 6地点 (秋季)

調査地区	水系名 北 上 川	河川名 一 川	地区名 一 地区	調査箇所番号 No. 6
------	--------------	------------	-------------	-----------------

地点の概況	河川形態	Bc型・Bb-Bc型・Bb型・Aa-Bb型・Aa(I)型・Aa(II)型・その他(水路)									
	川幅(m)	0.5~2	感潮の有無	有・無・不明	汽水域の有無	有・無・不明					
	河床型	平瀬・早瀬・S型淵・R型淵・M型淵・D型淵・O型淵・とろ・ワンド・その他()									
	河床材料*1	岩盤・泥・砂・細礫・中礫・粗礫・小石・中石・大石							礫の状況	浮き石・沈み石	

水際状況	護岸等					根固め				草 本					木 本				裸 地											
	コンクリ護岸	鋼矢板	カゴ工	捨石工	木工	そだ工	その他()	コンクリートブロック	木工沈床	そだ沈床	その他()	抽水	浮葉	沈水	浮遊	ヨシ類	その他(低茎草本)	ヤナギ低木(4m未満)	ヤナギ高木(4m以上)	低木(4m未満)	広葉樹(4m以上)	針葉樹(4m以上)	竹林	根茎	岩盤	崖	石礫地	砂礫地	砂泥地	
	10														40	50														+

調査時の状況	調査回 2	季節 秋	調査年月日 2022年10月24日	調査時刻 11:20 ~ 12:00	天 候 曇り	水深(cm) 10~40	流速(cm/s) 0~80	水温(°C) 13.0
--------	----------	---------	----------------------	-----------------------	-----------	-----------------	------------------	----------------

トラップの設置・回収日時	設置	月 日	回収	月 日
--------------	----	-----	----	-----

調査方法	投網	目合	mm	網裾	m	回		
	投網	目合	mm	網裾	m	回		
	○ タモ網	目合	2 mm	網幅	40 cm	網高	40 cm	40分 × 1人
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間 × カ統
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間 × カ統
	定置網	袖長	m	袖丈	cm	直径	cm	時間 × カ統
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間 × 枚
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間 × 枚
	刺網	目合	mm	網長	m	網丈	cm	時間 × 枚
	○ サデ網	目合	6 mm	網幅	100 cm	網高	80 cm	40分 × 1人
	はえなわ	長さ	m	鉤	号	鉤数	本	時間 × 本
	どう	直径	cm	長さ	cm	時間	×	個
	地曳き網	目合	mm	袖長	m	袖丈	cm	分 × カ統
	玉網	目合	mm	網径	cm	分	×	人
	カゴ網	口径	cm	大きさ	× ×	cm	時間 ×	個
○ セルびん	口径	3 cm	直径	18 cm	長さ	30 cm	40分 × 2個	
エレクトロフィッシャー	電圧	V	分	×	人			
潜水観察	分	×	人					
カニカゴ	大きさ	× ×	cm	時間	×	個		

確 認 状 況	種 名	生活型	体 長 区 分*3						合計	体 長(cm)	
			I	II	III	IV	V	VI	最小	最大	
	フナ属	淡水性			2				2	5.9	8.3
	アブラハヤ	淡水性	3	18	18				39	2.1	8.5
	ドジョウ	淡水性		6	5				11	3.4	8.9
	トウヨシノボリ類	不明		3	2				5	3.7	5.7
	その他水生生物	種 名	個体数*4								

水質調査の状況	調査年月日 2022年10月24日	pH 7.5	電気伝導度(μS/cm) 150	濁度(FTU) 0	水温(°C) 16.5	溶存酸素(mg/L) 13
---------	----------------------	-----------	---------------------	--------------	----------------	------------------

*1 優占する河床材料について、8割以上が単一の型で占められる場合は第1優占型のみ、それ以外の場合は第1優占型と第2優占型を記録。区分は以下のとおり。
 ・岩盤(岩盤またはコンクリート) ・泥(0.074mm以下) ・砂(0.74~2mm) ・細礫(2~20mm) ・中礫(20~50mm) ・粗礫(50~100mm) ・小石(100~200mm)
 ・中石(200~500mm) ・大石(500mm以上)

*2 水際線(汀線を中心に2m程度の幅)全体に占める区分の割合を10%単位で記録。10%に満たない区分には+印を記入する。

*3 体長区分は次のとおり。 ・ I ≤ 3cm ・ 3cm < II ≤ 5cm ・ 5cm < III ≤ 10cm ・ 10cm < IV ≤ 15cm ・ 15cm < V ≤ 20cm ・ 20cm < VI

*4 10個体までは個体数を記入、それ以上は+(11~100程度)、++(おおよそ100以上)で示す。



魚類・底生動物調査 No. 1 地点



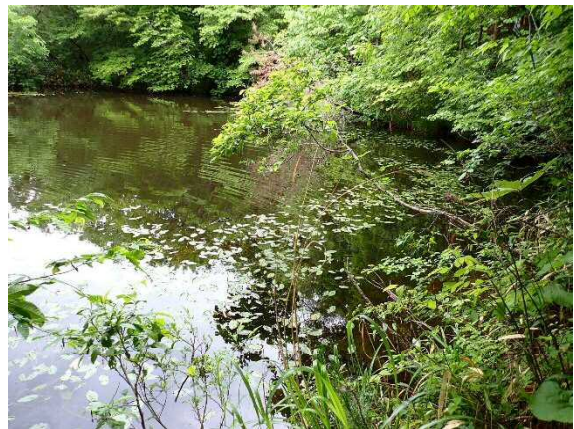
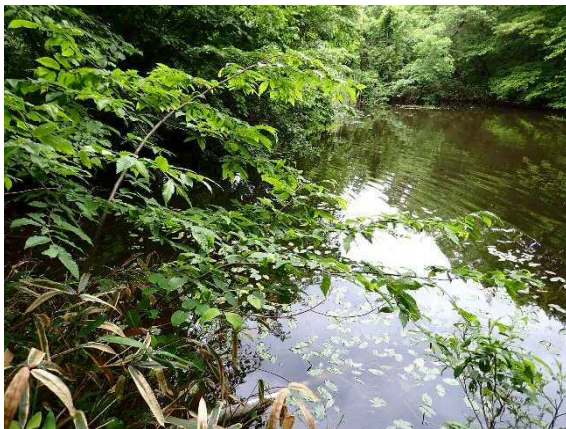
魚類・底生動物調査 No. 2 地点



魚類・底生動物調査 No. 3 地点



魚類・底生動物調査 No. 4 地点



魚類・底生動物調査 No. 5 地点



魚類・底生動物調査 No. 6 地点



底生動物任意調査地点 No. 1



底生動物任意調査地点 No. 2



底生動物任意調査地点 No. 3



底生動物任意調査地点 No. 4



底生動物任意調査地点 No. 5